

各学部・学科等の目的

【国際学部】（宇都宮大学国際学部履修規程より）

（学部及び学科の目的）

第2条の3 本学部は、現代の諸問題に的確に対応し解決するために、伝統的
学問の枠組みを超え、諸科学の連携による新しい学問体系「国際学」

（International Studies）の基礎的・専門的知識を身に付け、地域社
会及び国際社会に貢献することのできる人材を育成する。

2 国際社会学科は、国際社会の構造を、歴史あるいは人権、法律、政治、経
済などのシステムから理解し、世界規模の相互交流に必要な基礎的・専門的
知識を身に付けると同時に、グローバリゼーションにともなう社会的諸課題
の解決のために国際協力、環境、技術移転、情報などの側面からアプローチ
できる人材を養成する。

3 国際文化学科は、国際社会の構造を、歴史、伝統、宗教、芸術などの人間
精神に関わる分野から考察し、異文化間の相互交流に必要な基礎的・専門的
知識を身につけると同時に、グローバリゼーションにともなう文化的諸問題
の解決のために異文化理解、コミュニケーション、文化比較、言語、文学な
どの側面からアプローチできる人材を養成する。

【教育学部】（宇都宮大学教育学部履修規程より）

（学部及び課程の目的）

第2条の2 本学部は、学校教育教員及び広く社会の各分野で活躍する人物の
養成を目的とする。

2 学校教育養成課程は、学校教育全般を見直しつつ、実践力のある初等・中
等教員及び特別支援教育の教員の資質を持った人物を養成することを目的と
する。

3 総合人間形成課程は、社会人としての総合的な能力を身に付け、現実の課
題解決に活躍できる資質を持った人物を養成することを目的とする。

【工学部】（宇都宮大学工学部履修規程より）

（学部，学科及びコースの目的）

第3条 本学部は，基盤教育科目（初期導入科目，リテラシー科目，教養科目，基盤キャリア教育科目，留学生日本語科目及び専門導入科目をいう。以下同じ。），共通専門基礎科目及び共通専門科目並びに機械システム工学，電気電子工学，応用化学，建設学又は情報工学の専門分野に関する教育・研究を通して，幅広い視野を持ち，積極的にものづくりを志し，広く自然環境と人間社会の調和発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。

2 機械システム工学科は，総合デザイン教育を含む機械工学に関する基礎及び専門教育を通して，将来の社会的要請に柔軟に対応できる創造性豊かな人材を養成することを目的とする。

3 電気電子工学科は，電気電子工学を通して，高度技術社会を支える新技術の研究開発や応用に貢献し，人間性豊かな社会の創造に積極的に参加する人材を養成することを目的とする。

4 応用化学科は，幅広い化学の知識と技術を身につけ，地球環境とのバランスをとりながら科学技術の進展に貢献できる，柔軟で創造性豊かな人材を養成することを目的とする。

5 建設学科は，住宅から国土計画にいたる建設技術に関する基礎的，応用的な知識を身につけ，社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。建設学科の各コースの目的は次のとおりとする。

一 建築学コースは，建築工学及び建築の芸術性，社会性に関する教育・研究を通して，豊かな空間と，よりよい社会の創造をめざす人材を養成することを目的とする。

二 建設工学コースは，社会基盤及び自然環境の整備のための建設技術に関する教育・研究を通して，国土開発・保全，海外開発協力を活躍できる人材を養成することを目的とする。

6 情報工学科は，情報工学の基礎的，普遍的，本質的な知識を身につけ，世の中の変化に柔軟に対処できる人材を養成することを目的とする。

【農学部】（宇都宮大学農学部履修規程より）

（学部及び学科の目的）

第2条の3 本学部は、持続的・生物生産、環境の保全と修復、生命科学の発展と応用を共通の目標において教育・研究を通して、地域社会並びに国際社会に貢献することのできる人材を育成する。

- 2 生物資源科学科は、生物学及び化学を基礎として、多様な生物資源の特質を分子から個体・個体群・生態系レベルで究明し、動物・植物・昆虫・微生物の機能解明・開発、食料等の人間生活に必要な生物資源の持続的・生産、及び生物資源の環境産業等への展開利用に役立つ理論と実践力を身につける教育を行う。その上で多様な問題に対する解決能力を身につけ能動的に活躍できる人材を育成する。
- 3 応用生命化学科は、生命の営みを支える物質を明らかにし、その代謝などによる構造や機能の変化を解明することを通じて、真に豊かな暮らしを支える科学技術の発展を図るための教育研究を行い、生命・食品・環境の分野で活躍できる人材を育成する。
- 4 農業環境工学科は、環境と調和した農業システムと豊かで美しい田園空間の創出をめざし、農業生産、農村居住空間から農作物流通に至るまでの農業・農学の課題に対して、調査・計画・設計及び管理技術に関する工学的な教育・研究を行い、関連技術の高度化、多様化、国際化に貢献できる人材を育成する。
- 5 農業経済学科は、国内外の食料・農業・農村について社会科学的視点から教育・研究を行い、実践的解決能力を備え、社会に貢献できる人材を育成する。
- 6 森林科学科は、人間社会の持続的発展のための森林資源の利活用を探究することを通して、森林に係わる実践的専門家を育成する。